

予算審査特別委員会のようす

民生文教常任委員会所管

3/8



黒田原地区定住促進住宅ウイングヴィーナス



ほんの一部です。

議員からの質疑

Q

A

町からの応答

不妊治療費助成金について、治療費は保険適用後も高額になるが継続して行うのか。

年度をまたいで不妊治療を行っている方へは（対象外となるので）引き続き適用し、また国は年齢制限を設けており、該当しない方には町が助成する。

敷地借地料を支払っていた高久保育園が閉園となったが、新年度予算にある保育園の敷地借地料はこの保育園か。

高久保育園分は新年度からないが、那須高原保育園は敷地借地料がかかっている。

小中学校のトイレの洋式化はどこまで進んでいるのか。

校舎内のトイレについては100%洋式化となった。今後の課題は体育館や校舎外になるが、財政状況を見ながら計画的に進めていきたい。

旧室野井小学校でお試しの教育相談室があったが、今年度はどのように考えているのか。

サテライト教育相談室として、半年事業をしたが新年度も同様の体制のまま検証していきたい。

ウイングヴィーナスの後の新しい定住促進住宅について予算の計上はないが、今後はどのように検討していくのか。

検討するにあたってのたたき台を担当課で作成し、まずは庁内で検討する。

移住定住支援コーディネーター業務委託料(700万円)は、人数が1人増えて、予算も倍になっている。何人移住できたか結果が見えやすい業務なので成果報酬制度は取れないのか。

町として、成果報酬設定が難しい。そういった考えは今のところない。

健康ポイント事業にアプリ管理と景品を入れて200万円で300人。1人あたり7,000円程度かかっているが、この費用対効果から考えて、この事業の妥当性は。

外出自粛による健康悪化を防ぐことを目的としたが、このあと実際に参加された方がどのような健康状態になっているか、医療に係る費用などが変わったかなど検証していきたい。

敬老会開催委託料(482万円)は、コロナ禍で新しい方式を取り入れたいとのことだが、具体的な案はあるのか。

現在のところ案はまだない。

～全員集中の委員会審査～

総務産業常任委員会所管

3/9



友愛の森工芸館



議員からの質疑

Q

A

町からの応答

黒田原下水道建設費のLCD監視制御装置更新工事(9,284万円)、国の補助は50%とはいえ、これまでかけて監視と制御の必要性はあるのか。

自動運転が主な機能である。これがないと人が24時間、監視やポンプ運転などを行わなければならない。

林業担い手育成支援事業(100万円)とあるが、内容は。

林業に関する資格取得の講習会などを受講する際に、費用の2分の1(上限10万円)を補助するもの。

農業共済加入促進事業で現在45人の方が加入し、30人が米価暴落の救済を受け事業効果は高かったと思うが、昨年より予算減になっているのは。

令和3年度はこの事業の初年度であり、加入者全員が補助の対象であったが、令和4年度は新規の方だけが対象なので予算減になる。

町有林の造林について中長期的な計画はしているのか。

町有林伐採計画(5か年)が承認されたので、それに沿って伐採していけば苗植えや木が育つまでの下刈りが計画的に実施していけると思う。

簡易型屋外拡声子局の設置に対する町民の声をどう受け止めているのか。

一般的には防災行政無線が聞こえにくいとの意見があるため、情報伝達の方式を至急検討していく必要がある。

屋外拡声子局の増設は考えているのか。

屋外拡声子局の増設が10基程度必要と考えているが、新たにソフト面に対応できる情報伝達システムが開発されたため導入について検討している。よって今年度の増設は見送った。

町議会議員選挙の際のポスター掲示場が従来通り136箇所(449万円)となっている。誰も通らないような場所にも掲示場があるが、減らす考えはないか。

これ以上減らすのは現時点では難しい。那須町の場合、法令上では164箇所となっている。

友愛の森管理運営事業費の委託料(4,466万円)について、直売所など管理が一元化になると聞いている。直売所の利益だけでも相当あることを考えると、この額は多い。令和4年度もまだ一元化にはならないのか。

那須町工芸振興会の統合は決まったが、直売所組合については1年間工事延長した関係上、一元化が先延ばしになっている。